

2016 年度 IFA 日本支部理事会兼総会議事録

日 時 2016 年 3 月 2 日 (水) 12:00~14:00

場 所 日本工業倶楽部 4 階 第 4 会議室

出席者 33 名

1、藤井保憲事務局長の開会宣言の後、増井良啓会長から挨拶があり、5 月に韓国で開催される IFA Asia-Pacific Regional Tax Conference 及び 9 月にスペインで開催される IFA 年次総会への積極的な参加を期待する要請があった。

2、昨年 12 月にご逝去された志賀櫻監事の後任として、新監事に川田剛会員が承認された。

3、経理担当 宮崎裕子理事から、資料 2 に基づき、2015 年度の会計報告が行われた。収入面・支出面ともに大きな変動はなかったこと、昨年度に比べて会費収入が微減しているものの、収入・支出の関係で次期繰越高は微増していることの説明があった。

次いで川田剛監事から、上記会計報告に関して適正な会計処理が行われている旨の報告があった。これを受けて、2015 年度会計処理が承認された。

4、藤井保憲事務局長から、資料 3・4 に基づき、事業報告・今後の IFA 研究テーマについて説明があり、補足情報として下記の説明がなされた。

(1) IFA President の P.F. Kaka (India)氏がアジア太平洋地域の活動を活発化させる国際的プロジェクトを進めており、昨年 4 月のシンガポールでの第 1 回会合に続いて、今年の 5 月 12~13 日に韓国ソウルで、IFA アジア太平洋地域第 2 回会合 (IFA Asia-Pacific Regional Tax Conference 2016) が開催される予定である。第 1 回会合同様、第 2 回会合でも日本から多くの支部会員がパネリスト等として参加予定である。将来的には日本でのリージョナル会合の開催も要請されると予想されるが、会員の皆様の積極的な支援を期待したいと考えている。

(2) 支部活動の主たる目的は、IFA 総会での議論に多くの支部会員が参加することにあると考えており、総会での議論と支部会員をつなぐ、あるいは総会の議論をフィードバックする活動を引続き強化していきたいと考えている。このため、7~8 月には 2018 年リオデジャネイロ大会のブランチ・レポーターによる中間報告会を開催し、12 月頃には 9 月に開催されるスペイン (マドリッド) での IFA 年次総会の報告会を開催したいと考えている。

(3) ブランチ・レポーターについては、広く適材を求める趣旨から、自薦・他薦を積極的に求めることとしている。本来3月は、2年後の年次総会について募集をしている時期であるが、ソウル大会のテーマ選考が遅れていることから、ブランチ・レポーターの募集も遅延しているが、テーマ確定次第、IFA 日本支部ホームページを通して、自薦・他薦を求める予定である。

5、PSC メンバー青山慶二会員から最近の IFA 総会議題の動向および2月に開催された PSC 会合でのセミナー内容についての説明が行われた。(本内容は租税研究に掲載される予定である。)

6、以上に続き、一橋大学准教授吉村政穂会員から記念講演として「BEPS によって何が変わったのか」のご講演があった。(本講演内容は租税研究に掲載される予定である。)

7、閉会宣言は、事務局長 藤井保憲が行った。